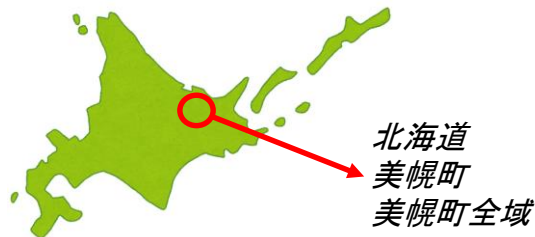


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(29年度:計画作成主体:美幌町農業再生協議会)(北海道)

取組の概要

対象品目 : 人参(産地面積280ha)
 主な取組主体 : 美幌町農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準(H27年度) 403,941円/10a
 目標(H31年度) 492,597円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース)
 (収穫機 4台)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

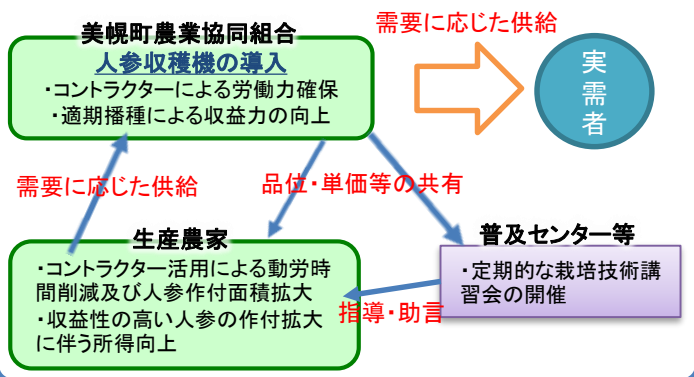
現状のコントラクター収穫機の台数では適期収穫を行うことが出来ず、生産性・品質性が低下し、収益性向上が図ることが難しい状況にある。
 人参の作付面積を拡大することで所得が向上するほか、経営体系に人参を取り入れることで輪作体系の維持が出来ることから、コントラクター体制を強化することで産地全体の収益力向上を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】

適期収穫により生産性と品質を向上させるため、人参収穫機を導入

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 生産性向上を図るための栽培講習会の開催
- コントラクターにより労働力不足を補い、輪作体系の維持を図る営農スタイルを構築

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ① 人参収穫機導入による適期収穫及び収益性の向上
- ② 人参作付面積の拡大

【事業実施による間接効果】

- ① 輪作体系の維持による地力の向上や病害虫の発生防止



**販売額が
8.8%増加
(達成率40.25%)**

